



林 声



OKAYAMA

お か や ま
No. 403 . 2009 . 1 . 1



保存修理工事の完了した国宝吉備津神社本殿及び拝殿（岡山市吉備津）

目 次

新年のごあいさつ	2	木材の利用促進	6
森林保全と「おかやま森づくり県民税」 について	3	指導林家の活動紹介	6
普及情報	4	研究だより	7
普及指導最前線	5	お知らせ	8
		林産物市況	10

新年のあいさつ



岡山県林業改良普及協会 会長 井手 紘一郎

新年あけましておめでとございます。 会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素から当会の運営につきましては、格別の御支援、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成二十年度は京都議定書の第一約束期間の開始の年であり、温室効果ガス六ヶの削減約束のうち、三・八%削減相当する一、三〇〇万炭素トンの二酸化炭素を森林による吸収で賄うこととされており、県においても地球温暖化防止等間伐推進五力年計画により、平成二十年度から平成二十四年度までの五力年間で三〇、〇〇〇トンの間伐を計画的に実施するこ

とされております。

さらに、県産材原木の安定供給に対する木材産業の期待が高まる中、当協会といたしましても、地域林業の中核となる林研グループ会員等を対象に、施業の集約化による効率的な森林整備に取り組んでいる事業体及び国産材スギLVL製造工場での先進事例研修や、林研グループ交換研修大会を開催するなど、会員の皆様の技術力の研鑽、連携強化を図るとともに、一人でも多くの方が林業経営意欲を取り戻し、間伐等に取り組まれることを目指しております。

最近では、森林所有者の林業経営意欲の低下等から、伐採後、植栽を行わない造林未済地の発生が全国各地で問題となっており、林業は他産業と異なり、変貌する社会、経済環境に翻弄されることなく、生物多様性を保持し、二酸化炭素をより多く吸収し、循環型資源としての森林を守り育て、整備していくことが求められています。

台風第二三号による風倒木被害地の復旧も計画どおり約四、六〇

〇が完了できる見通しであり、また、森林の保全に関する施策の一層の推進を図るため、平成十六年度に全国に先駆けて導入された、おかやま森づくり県民税が、平成二十一年度以降五年間の継続が決定されるなど、当協会といたしましても、心強く感じているところでございます。

これからも、森林づくりへの意欲が一層促進され、産業としての林業が活力を増していくよう、林業事業体、市町村、林業普及指導員などの団体、機関等と密接な連携を図りながら、林業技術の普及、後継者の育成、地域林業の振興などの一翼を担ってまいれる所存であります。

会員の皆様の一層の御支援、御協力をお願いいたしますとともに、それぞれの分野でますます御活躍されることをお祈り申し上げます。 ただきます。



コマツのグラップルレンタル機ラインナップ

〒708-0014 岡山県津山市院庄921-1 コマツ中国(株)津山営業所 TEL.(0868)28-2261



ベースマシン	PC45MR-1	PC78US-5	PC138US-2
機械質量	4.9トﾝ	7.4トﾝ	13.9トﾝ
接地幅	1,960mm	2,320mm	2,490mm
グラップルメーカー	コマツ	イワフジ	松本システム
型式	LH03-3E	GS65LHV	MSE45LGS
最大開口幅	1,185mm	1,620mm	1,910mm
最小掘み径	105mm	95mm	80mm
ウインチ	有	無	無



林業の機械化に取り組むコマツはグラップルのレンタルも各種取り揃え対応いたします。 1日からでもお気軽にご利用下さい。



森林保全と「おかやま森づくり県民税」について

平成21年3月をもって5年間の課税期間を終える「おかやま森づくり県民税」については、昨年、岡山県税制懇話会において、事業成果や税制度のあり方などが審議され、「森林保全のための貴重な財源として本税を存続すべきである。」との提言をいただきました。

県では、これを受け、昨年12月の県議会に、課税期間を21年度から5年間延長する条例案を提出し、ご承認をいただいたところです。おかやま森づくり県民税の“これまで”を振り返り、森林保全と本税の“これから”をご紹介します。

1 おかやま森づくり県民税とは ～本税創設の経緯～

林業の採算性の悪化や担い手の減少等によって人工林の手入れが行き届かず、森林の持つ公益的機能の低下が危惧される中、すべての県民が享受している森林の恵みを守り続けていくため、県独自の環境税制として「おかやま森づくり県民税」を16年4月に創設しました。

本税は、県民税均等割超過課税方式により、個人からは年額500円、法人は均等割額の5%に相当する年額1,000円～40,000円をいただくもので、税収額は19年度までの4年間で約19億円となっています。また、用途を特定するため、税収をおかやま森づくり県民基金に繰入れ、森林保全の施策に限定して充当しています。



2 おかやま森づくり県民税の用途 ～本税を活用した森林保全事業の成果～



19年度までの4年間で約17億円の税を活用し、①森林の公益的機能をもつ森づくり、②担い手の確保と木材の利用促進、③森林・林業情報の提供と森づくり活動の推進の3つの柱に沿った各種の事業を実施した結果、奥地人工林の間伐や平成16年の台風による風倒木被害地の復旧支援が促進され、6,400ha余りの森林の整備と再生が図られたほか、若い担い手の育成や県産材を使用した施設整備、延べ2万人に及ぶ県民参加の森づくり等、大きな成果が得られています。

また、現在、29県が森林保全に関する県民税を創設しており、おかやま森づくり県民税はその先駆的な役割を果たしています。

3 岡山県の森林・林業の現状 ～おかやま森づくり県民税の必要性～

より快適で安心できる暮らしや心の豊かさが重視され、森林の持つ公益的機能への期待はますます高まっています。また、地球温暖化対策が喫緊の課題であり、森林による二酸化炭素の吸収を促進するためには、間伐などの森林整備を加速させるとともに、再生産が可能な森林資源を活用した循環型社会を構築することが重要となっています。

一方、木材価格の長期低迷や担い手の減少に加え、特に本県では、森林面積の92%が所有規模の零細な民有林であることや、台風による風倒木被害で森林所有者の施業意欲が大幅に減退していることなどから、森林の手入れが行き届かず放置される傾向にあり、森林の荒廃による公益的機能の著しい低下が、県民生活に重大な影響を及ぼしかねない状況にあります。

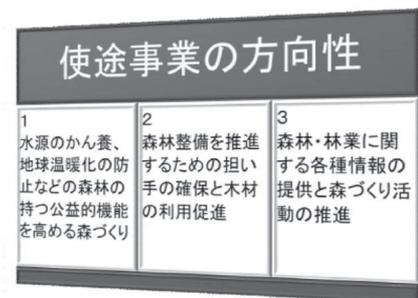
このため、おかやま森づくり県民税により、森林の恩恵を享受するすべての県民が一体となって、本県の森林保全に継続的に取り組んでいく必要があります。

4 おかやま森づくり県民税の”これから” ～税制度と用途事業の方向性～

おかやま森づくり県民税は課税期間を5年間延長し、21年4月から第2期がスタートすることとなります。課税方式や税率は、これまでと同様です。

用途は、今後とも、①水源のかん養、地球温暖化の防止など森林の持つ公益的機能をもつ森づくり、②森林整備を推進するための担い手の確保と木材の利用促進、③森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進を3つの柱とし、新たに、松くい虫被害を受けた森林の再生対策や、市町村による地域提案型の森づくり、森林整備をより一層促進する観点から国庫補助事業への活用など、21年度以降の具体的な施策について検討しているところです。

森林をより良い姿で次の世代に引き継ぐため、今後とも、おかやま森づくり県民税にご理解とご協力をお願いします。



(林政課 普及指導班)

普及情報

平成二十年十一月五日(水)から七日(金)に岡山県林業試験場で実施した、「簡易で壊れにくい作業路作設研修」について紹介します。

一 研修の目的

生産コストに大きく影響し、高性能林業機械の有効な活用に欠かれない路網整備について、県内の多くの事業者がその必要性を認識し、低コストの作業路作設技術が求められています。

このため、林業生産活動の担い手である森林組合や事業者等が路網と高性能林業機械を組み合わせた高効率な作業システムを展開できるように、簡易で耐久性のある作業路のルート選定や施工技術の習得を目的として開催しました。

二 研修内容

一回当たり約一五名を対象とし、午前中に室内講義、午後から現地実習を行い、三回で四一名の林業普及指導員及び事業者職員が受講しました。

室内講義では、作業路網の作設

に必要な基礎知識の習得を目的に、

地形に関する事項

読図の目的と方法及び地形の基礎知識

路網に関する項目

路網密度や迂回率、路網配置係

数(f値)

などについて講義しました。



室内講義

午後からは、美咲町ヒノキ人工林内の現地で作業路作設デモンストラーション及び、簡易で耐久性のある作業路の作設ポイントである、表土ブロック積工法を中心に、作設実習を行いました。また、作業路整備が進むことにより、ハーベスタの有効利用も可能であることなど、作業システムの検討も合わせて行いました。



作設実習



ハーベスタ

SUMITOMO KESLA HARVESTER 20 SH

三 まとめ

森林整備に重要な作業路の必要性、作設方法の基礎が理解されたと思います。

今回の研修成果を踏まえて受講者には今後、より良い路網の計画や作設方法の普及指導及びオペレータの丁寧な作業の実施を期待しています。

(林政課 林業普及指導員)



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<http://www.mitsuyoshi.com/>

普及指導最前線

「美星ふるさとまつり」での木工教室の開催

井笠普及指導区

一 はじめに

井原市は、当普及指導区で最も人工林の多い地域ですが、近年では、松くい虫被害の拡大や木材価格の低迷等により森林・林業への関心が薄れつつあるため、井原市では、平成十八年度から「美星ふるさとまつり」において「地域の森づくり普及啓発事業」を活用した森林・林業のPRコーナーを設け、木工教室などを開催していますのでその概要を紹介します。

二 取組内容

木工教室では、パネルの展示や林業普及指導員による木工の指導を行いました。材料には木工キットを使用し、子どもでも短時間で簡単に作成することができるようにしています。子ども達は釘を打つのに苦労しながらも自分で作成することに満足感を得ている様子でした。また、おかやま森づくり県民税の目的や用途について広くPRするため、「おかやま森の大使」

らがパンフレットやチラシを配布するとともに、ドングリポット苗木の無料配布も行いました。

その他、会場内では「美作の国チエンソーカービングクラブ」による実演と作品の即売も行われ、来場者の注目を集めていました。



木工教室での指導

三 おわりに

木工教室は、子ども達が直接木材に触れあい、木のぬくもりや香りなどを実感することができ、また、自分で作成した物を使うことにより木材への愛着も生まれてきます。このような子ども頃の体験が大変貴重であり、将来の木材の需要拡大に繋がって行くことを期待するとともに、今後機会をとらえ、林業教室等を積極的に開催していきたいと考えています。

(林業普及指導員 菅野章宏)

「未来に引き継ぐ真庭の森づくり」完結版の作成

「未来へのプロローグ」

真庭普及指導区

一 はじめに

真庭地域では、平成十六年の台風第二三号による災害を契機に今後の「山づくり」をどのように進めるべきか長期的な視点にたつて検討するため、平成十七年、十八年に、「災害に強い森づくりの指針」と「長伐期施業に対応した新たな森林施業体系」について冊子に取りまとめました。

しかし、「作成した指針の実証を行うこと」、「森林所有者が活用しやすいように改善すること」の二課題が残っていました。

このため、広葉樹造林指針、長伐期施業指針の現地適応調査や検証を実施し、森林所有者が使いやすい地位級ごとの長伐期施業指針の作成を行うこととしました。

二 内容

本年度の調査は、真庭森林・林業研究会、真庭市、真庭森林組合、林業普及指導職員、森林課職員が、高齢級林分調査（七四箇所）、高齢級林分の間伐実施状況調査（八箇所）、複層林施業

林分の生育状況調査（一三箇所）、災害跡地の広葉樹植栽地の生育状況調査（五箇所）を行いました。



広葉樹生育調査状況



林分調査状況(複層林)

現在、調査は全て終了し、データの整理を行っていません。

今後は、

真庭森林・林業研究会、真庭森林組合、真庭地区木材組合、岡山大学、市村等を構成員とする「未来に引き継ぐ真庭の森づくり検討委員会」において、解析データをもとに、分かりやすい指針を作成し、所有者へフィードバックする予定です。

この指針が、未来につながる指針となるよう関係者一同熱意を持って取り組んでいます。

(林業普及指導員 石原則男)

木材の利用促進

「ウッドハウス いろり家」

勝英普及指導区

奈義町「那岐山麓 山の駅」に隣接する「いろり家」は、平成十八年に建築されました。木造平屋建、約五八平方メートルの大きさです。

「いろり家」には、平成十六年の台風第二三号によって風倒被害を受けた地元の木材が使用されています。また、建築には、多くのボランティアの方々が携わっています。

台風第二三号の後、木材の価格は大きく下降し、地元の木材は、用材として使用されないまま放置されていました。

これを知った地元では、災害を地域の活性化に生かす方法として



ウッドハウス いろり家

木造施設を計画し、腕に覚えのある地元の大工さんや地元のを活性化を



「いろり家」内部

願う方々が参加して「いろり家」は完成しました。

「いろり家」は、囲炉裏を使用することから天井を設けていないため、梁をはじめとする構造材の様子を見ることが出来ます。また、設置されている囲炉裏は、使えない時には格納できる構造になっています。

「いろり家」の窓からは、山野草公園への道である「天空橋」の絶景を眺めることができます。

これからの季節、奈義町を訪れた際には、この囲炉裏の暖かさに



設置された「囲炉裏」

触れながら、天空橋に降る雪を眺めてはいかがでしょうか。

(林業普及指導員 上村一仁)

指導林家の活動紹介

「南倫一さん(高梁市玉川町)」

高梁普及指導区

今回は、特用林産部門のしいたけ栽培で指導林家として活躍されている高梁市玉川町にお住まいの南倫一(ともいち)さんを紹介いたします。

南さんは昭和五十六年、日本きのこセンターから新しいしいたけ菌の試験栽培をするよう依頼されました。この菌を試験栽培したところ良好な結果が得られたため、昭和六十年からはその菌を広めるためのPRや講習会の講師として、北海道と沖縄を除く全国を訪問されました。このしいたけ菌が現在の菌興一五号で、岡山県では「茸太郎」と呼ばれ、大型、肉厚で収量が多い種菌です。

また、ご自身も大規模なしいたけ栽培に取り組んでおられ、十数万本のほだ木を所有しています。ほだ場にはスプリンクラーを設置し適期に散水することにより計画的な栽培を実施しています。

栽培したいはけは県森連以外にも井原市美星町の「星の郷青空市」や県南の百貨店等に出荷されています。

平成二十年十二月には、当普及指導区が開催した「しいたけ栽培講習会」において、豊富な経験や、長年にわたって培われた自らの栽培知識・技術を、実例を交えながらわかりやすく講習していただきました。



また、自宅を訪れるしいたけ栽培者にも懇切丁寧な指導を行い好評を博しているところです。

当普及指導区としても、中国からの輸入が減少し品薄の状態にある今こそ、しいたけ栽培に積極的に取り組む好機と捉えており、しいたけ栽培者が理にかなった無駄のない栽培をして所得の向上につながるよう、南さんの今後ますますの御活躍に期待しています。

(林業普及指導員 近藤和夫)

研究だより

広葉樹造林について

(その一)

岡山県林業試験場 西山嘉寛

平成十六年十月に発生した台風第二三号により、県北部の人工林を中心に甚大な風倒木被害が発生したことは記憶にまだ新しいことです。現在、被害発生後四年が経過しましたが、関係者の多大なる尽力により、被害地の復旧を急ピッチで進めてきました。その結果、従来のスギ、ヒノキのみならず、ケヤキ、コナラ、クヌギ、ヤマザクラ、クリ等の有用広葉樹が植栽されています。

このことから、当林業試験場でも、平成二十年度より、「風倒木跡地等に植栽された広葉樹施業技術の確立」というテーマで研究に取り組んでいます。

今回、その一、として、風倒木跡地に植栽された広葉樹（ケヤキ、コナラ、クヌギ、ヤマザクラ、クリ）について、それぞれ造林後の生育状況（樹高成長）を調査し、土壌型、標高、斜面位置、

傾斜方向、傾斜角といった立地環境要因との関係を解析しましたので、紹介します。

まず、土壌型としては、表の通り、五樹種とも肥沃地であればあるほど生育が良好な結果となりました。ただし、調査した感想を言えば、樹種別の生育適応範囲（植栽範囲）としては、ヤマザクラでは谷部、尾根部（肥沃地、痩地）、コナラ及びクリでは谷部、中腹部、ケヤキ及びクヌギではさらに生育適応範囲が狭くなり、谷部（肥沃地）に限定されるという感触を得ました。この根拠として、ケヤキ及びクヌギについては、斜面の中腹部に植栽され、植栽後二、四年で、いずれも生育不良となっているケースや、植栽箇所周辺に植栽樹種と同一の樹種がある場合（実生）、実生では高木となつていても、植栽した場合では、生育不良となっているケースが確認されたことが挙げられます。特に、直根性のナラ類（コナラ、クヌギ、クリ）では、実生では直根があるのに対し、植栽では苗木段階で直根を切つておこなうことがその一因であると思われる。このような例をみると、広葉樹

人工造林に際しては、従来、考えられていた生育適応範囲よりさらに斜面下部への植栽を検討する必要があると考えられます。

標高の観点からみると、標高が二五〇～五〇〇mの範囲が最も生育が良く、逆に五〇〇mを超えると、生育は悪という結果が得られました。標高が五〇〇mを超えると、クマザサを含むササ類の繁茂が顕著であり、かつ冬の積雪による影響等も考えられ、広葉樹の生育環境としては極めて厳しい状況といえます。

傾斜方向としては、南向き斜面が最も生育が良く、逆に、西向き斜面が生育不良でした。特に、西向き斜面では、西日によるダメージが大きかったと考えられます。

傾斜角は、角度により三区分した結果、最も緩い場合及び急な場合が中間に比べ、生育が良い結果となりましたが、これは前者が谷部、後者が中腹・尾根部に集中しており、斜面形と密接な関係がみられました。

以上、今回の調査結果より、人工造林に関しては、スギ、ヒノキといった針葉樹以上に、広葉樹の場合、適地適木といった点につい

て、十分に留意しておく必要があることが明らかになりました。最後に、かつてあつた広葉樹林を人工的に再び取り戻すことは並大抵なことではありませんが、その日が一日でも早く来るよう（広葉樹造林が成功するよう）、研究サイドとしても、技術的なフォローができればと考えています。

表 要因別広葉樹の生育判定

要因	造林の場合
土壌型	BD > BD(d) > BA・BB
標高	251 ~ 500m > 0 ~ 250m > 501 ~ 750m
斜面位置	谷部 > 中腹・尾根部
傾斜方向	S > N > E > W
傾斜角	0 ~ 15°・31 ~ 45° > 16 ~ 30°
樹種	ヤマザクラ > コナラ > クリ > クヌギ > ケヤキ

お知らせ

「岡山県林業試験場研究発表会を開催します」

岡山県林業試験場では、林業関係者の方々ははじめ、多くの県民の皆様の研究の成果をお聴きいただき、森林・林業や試験研究に対する理解を深めていただくため、次の日程で研究発表会を開催します。

一、開催日時

平成二十一年二月十二日(木)
一三時三〇分から一六時まで

二、開催場所

勝田郡勝央町植月中一〇〇一
岡山県林業試験場「森の館」

三、発表課題

- ・広葉樹の施業技術について
- ・竹林の拡大防止について
- ・マツタケの発生環境について
- ・崩壊危険地の判定について
- ・壊れにくい作業路の開設について

なお、出席を希望される方は、平成二十一年二月三日までに、最寄りの県民局・支局の森林課までお知らせください。

(林業試験場 業務部)

「森林学習講座を開催しました」

平成二十年十一月三十日(日)

岡山県林業試験場は、場内を会場として、森林や林業について理解を深めてもらうため、森林学習講座を開催しました。今回で一四回目の開催になり、一般県民二〇名の参加があり、きのこの不思議な生態についての講義や当試験場が開発した炭化炉による炭焼き実習等を行いました。

(講座の概要)

- ・講義「きのこの不思議」
- ・実習「苗木づくり・木工教室」
- ・炭焼き体験
- ・チエンソーアート実演

森林・林業に関する最近の話題も交えながら、研究成果の一端も紹介し、試験場を身近なものに感じてもらいました。



炭焼き体験

(林業試験場 普及指導室)

「森林病害虫等防除推進員研修を実施しました」

平成二十年十一月二十八日(金)

林業試験場において、森林病害虫等防除推進員研修を行いました。この研修は、地域の自主的な防除組織のリーダーを養成する目的で毎年実施しており、研修を受講された方は森林病害虫等防除推進員として認定されます。

今回の研修には、一〇名の方が参加され、これまでに一四四名の防除推進員が誕生しています。

研修では、松くい虫被害の発生メカニズムや防除対策の現状の説明を受けた後、被害木の伐倒方法



や林内作業車の操作方法を学びました。また、被害材中のマツノマダラカミキリの幼虫の駆除方法として、薬剤散布やくん蒸作業、チップパーでの破碎、薪割機を使用した、幼虫を焼却駆除するための薪づくりを行いました。

研修生からは、「今回の研修で学んだ防除機具を利用して、私の地域でも松くい虫の駆除を行いました。」との声が聞かれました。

来年度の研修会にはみなさんの参加をお待ちしています。

(林政課 森林保全班)

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製 造 元 森産業株式会社
総 発 売 所

岡山営業所 岡山市辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

森林林業関係イベント参加者募集中

実施年月日	開催場所	イベントの名称	問い合わせ・申し込み先
H21. 1.18 (日) 9:00~12:30	櫻の杜 (井原市門田町地内)	櫻の杜塾第105回杜の市 (特産品の販売など)	櫻の杜塾 会長 藤井直彦 TEL:0866-62-5685
H21. 1.24 (土)	おかやま共生の森・吉永 (備前市吉永町加賀美地内)	保育(間伐)のつどい	東備地域美しい森づくりの会事務局 (備前県民局東備支局森林課内) TEL:0869-92-5166 FAX:0869-93-1137
H21. 1.31 (土) 10:00~12:00	おかやま共生の森・井原 (井原市西江原町地内)	保育(間伐)のつどい	井笠地域美しい森づくりの会事務局 (備前県民局井笠支局森林課内) TEL:0865-69-1631 FAX:0865-63-6345
H21. 2.15 (日) 9:00~12:30	櫻の杜 (井原市門田町地内)	櫻の杜塾第106回杜の市 (特産品の販売など)	櫻の杜塾 会長 藤井直彦 TEL:0866-62-5685
H21. 2.21 (土)	おかやま共生の森・吉永 (備前市吉永町加賀美地内)	保育(枝打ち)のつどい	東備地域美しい森づくりの会事務局 (備前県民局東備支局森林課内) TEL:0869-92-5166 FAX:0869-93-1137
H21. 3. 7 (土)	おかやま共生の森・川上 (高梁市川上町高山市地内)	保育(枝打ち)のつどい	NPO法人ふれあいの里・高梁事務局 TEL:0866-22-1000 FAX:0866-22-1741

表紙の説明

国宝 吉備津神社本殿及び拝殿
(岡山市吉備津)

吉備津神社では平成十六年十二月一日から平成二十年九月三十日まで本殿及び拝殿の屋根葺替及び部分修理が行われました。

一 吉備津神社の屋根について

吉備津神社本殿の大きな特徴の一つに入母屋造屋根を前後に並べた比翼入母屋造が挙げられます。

屋根は松皮葺となっており、約五〇年周期で葺替が行われているようです。

使用されている松皮は通常使用される二尺五寸の平皮と、軒先では五寸長い三尺皮が使用されています。軒先では軒付を厚く積み、そこから屋根全面に平地用の松皮を七五枚程度重ね、葺厚は一五センチ弱程度となっています。

二 松皮葺について

松皮葺の起源は古く、七世紀にさかのぼるといわれています。松皮葺の伝統的な技法は、原皮師(もとかわし)と葺師(ふきし)によってささえられています。

原皮師とは、ヒノキから松皮をつくりだす職人で、樹齢七〇年から二〇〇年程度のヒノキから、八から一〇年ごとに表皮をはぎ取ります。大規模な建物を葺く場合、一坪におよそ一五〇キログラムが必要とされていますが、現在では原皮師の人数が激減し、伝統技術の継承が危ぶまれています。

緑化用種苗器材
庭公園樹各種芝
造園設計・施工



株式会社 **菁芳園**

岡山市東古松2丁目10-28
電話 222-4038

緑豊かな未来のために

水源林造成

独立行政法人 森林総合研究所
森林農地整備センター中国四国整備局

〒700-0826 岡山市磨屋町2番5号
TEL(086)226-3295 FAX(086)231-6344



緑あふれる環境づくり

株式会社 **山都屋**

本社 〒703-8273 岡山市門田文化町2丁目11番51号
TEL(086)272-2161 FAX(086)272-2142
http://www.yamatoya-net.com
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山県岡山市海岸通2丁目6番3号
TEL086-262-0137(代) FAX086-262-0130



林産物市況



木材 (12月17日)

単位：千円/m³

樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概況	
杉	3m	7~13	本280	-	本200	出荷材積 約1,500m ³
		14~16	13.5	-	8	
		18~20	14	-	8	
		22~24	11	-	8.5	
		7~12	本300	-	本240	
	18~22	10	-	9		
	24~28	11	-	9		
	18~20	15	-	8		
	6m	18~20	15	-	8	
	桧	3m	6~8	本130	-	本130
9~13			本350	-	本200	
14細			16	-	11.5	
14~16			23.5	-	22	
18~20			25.5	-	22	
22~24			21	-	18	
4m		26cm上	21	-	18	
		7~11	本380	-	-	記号 強気配 横ばい 弱気配
		12~13	本850	-	-	
		14cm	22	-	13	
		16~18	25	-	20	
		20~22	20	-	17	
24~28		20	-	17		
6m		30cm上	20	-	17	
		14cm	18	-	15	
		16cm	35.5	-	30	
		18~20	35.5	-	30	
		22cm上	25	-	20	
	18~24	10	-	7.5		
松	3m	18~24	10	-	7.5	
	4m	24~30	13	-	7.5	

乾しいたけ (10月23日)

- ・ 出品数量 4.8 t
- ・ 価格高値 6,500円
- ・ 総平均 4,370円

銘柄	価格		相場
	平均	高値	
香信大	4,590	5,220	
香信中	4,490	5,430	
香信小	4,060	4,890	
小間	4,810	-	
香信山成	3,920	4,520	
バレ大	3,650	5,360	
バレ中	3,730	4,430	
スライス	4,860	5,800	
花どんこ	-	-	-
上どんこ	-	-	-
並どんこ	4,250	5,300	
並並どんこ	3,410	4,690	
小玉どんこ	1,880	3,300	
山成どんこ	3,000	4,700	
こうこ	4,840	6,500	

価格：円/kg
(相場)

強： 保合： 弱保合： 弱：
資料：岡山県森連椎茸共販所市況速報

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製材 (12月中旬)

樹種	寸法	等級	区分	安値~高値
スギ	正角 3m 10.5cm角	特等	G	30,000~35,000
		特等	K	50,000~55,000
	正角 3m 12cm角	特等	G	30,000~35,000
		特等	K	50,000~55,000
ヒノキ	正角 3m 10.5cm角	特等	K	58,000~70,000
	正角 3m 12cm角	特等	K	58,000~70,000
マツ	平角 4m 10.5~12cm x 15~18cm	一等	G	35,000~40,000 KD 60,000~65,000
米マツ	正角 3m、4m 10.5cm角	特等	G	48,000~51,000
	平角 3m、4m 10.5 x 15~21cm	特等	G	48,000~51,000
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm角	特等	K	70,000~72,000
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm x 10.5cm	特等	K	55,000~57,000

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

「緑の募金」

ご協力をお願いします

募金期間
春のみどりの月間：4月1日 - 5月31日
秋のみどりの月間：10月1日 - 10月31日

緑の募金で
ふせごう地球温暖化
21世紀は森林の世紀

(社)岡山県緑化推進協会
岡山市錦町1-8 TEL・FAX(086)221-9511

公園・街路修景施設の設計・製作・施工
その他木製品の注文承ります

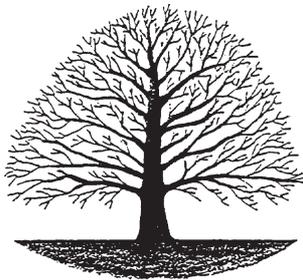
水を活かす

株式会社 フォレスト

〒702-8058 岡山市並木町二丁目16番22号
TEL 086-265-7350 FAX 086-265-1841

緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
 治山・林道の調査、測量、設計
 森林整備の総合計画
 治山・林道に係る用地測量
 公共事業に係る保安林業務



社団法人 **岡山県治山林道協会**



本所 〒703-8233 岡山市高屋225 - 1
 TEL (086) 271 - 3711
 FAX (086) 271 - 3773
 支所 〒708-0013 津山市二宮1849 - 2
 TEL (0868) 28 - 9360
 FAX (0868) 28 - 9363

安全・人と自然・調和

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕くわんたい
 〔樹皮食い防止に〕バークガード 〔野生草食獣食害防止〕防獣ネット
 〔クズ専用除草剤〕クズノック・ザイトロン・ザイトロンフレノック
 〔樹幹注入剤〕センチュリーエース
 (お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：原岸株式会社

TEL：086 - 465 - 7136

大同商事(株)大阪営業所

TEL：06 - 6231 - 2819

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用（空中散布・地上散布）ができる

スミパイン[®]乳剤

伐倒木用くん蒸処理剤

キルパー[®]40

樹幹注入剤 **グリーンガード[®]**

伐倒駆除剤

グリーンガード[®]エイト

パインサイド[®]S油剤C, D

お問い合わせは 県森連・森林組合へ

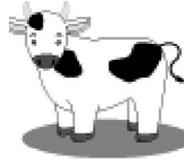


サンケイ化学株式会社

大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 TEL(06)6305-5871

木材共販日のご案内 岡山県森林組合連合会

謹んで
新春のお慶びを
申し上げます。



本年もお引き立ての程、宜しく願い申し上げます。

- 1/10 初市 (土) <勝山・津山共販所>
- 1/13 初市 (火) <新見共販所>
- 1/29 大径材祭り (木) <津山共販所>



各共販所とも多くの出材をお待ちしております

林声 平成二十一年一月一日(四〇三号)

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用厚層植生マット グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕 	間伐材利用植生マット 森樹郎マット 〔切土土砂用〕 	間伐材利用生分解型植生マット 森樹郎マット21 〔切土土砂用〕 	間伐材利用生分解型植生シート 張りウッド 〔盛土用〕 	間伐材利用植生シート ハリシバモック 〔盛土用〕
--	--	--	---	---



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

http://www.nihon-shokusei.co.jp/
岡山営業所 / 岡山市横井上1328-2 TEL (086)294-1000
津山営業所 / 津山市高尾573-1 TEL (0868)28-0256

編集 岡山県庁林政課内
発行人 岡山県林業改良普及協会

FOREST INSURANCE
森林 国営保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？
火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では平成19年度に10億円以上の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1haあたり)

樹種...ヒノキ 契約時林齢...1年
保険期間...5年 保険金額...最大188万円
一時払いだと21,225円(5年間計)

樹種...ヒノキ 契約時林齢...26年
保険期間...5年 保険金額...最大299万円
一時払いだと37,375円(5年間計)

1ヶ月あたり
約350円

わずか缶ビール
1本分

1ヶ月あたり
約620円

わずかラーメン
1杯分

保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

条件によって金額が変わってきます。

森林国営保険についてのご相談は、最寄りの森林組合、県民局・支局森林課の窓口へどうぞ。

岡山県農林水産部治山課

電話番号 086(226)7455(直通)